

現代女性とキャリア連携専攻委員会



2016年度 推薦図書リスト

①書名：赤ちゃんは何を聞いているの?: 音楽と聴覚からみた乳幼児の発達

著者：呉東進著 発行：北大路書房, 2009.7刊

所蔵：図書館目白, 図書館西生田 請求記号：376.11-Go

坪能由紀子先生(児童学科)の推薦のことば：著者の呉東進は京都大学教授。本書では、赤ちゃんや子どもと音楽とのかかわりを医学、発達心理学、脳科学、霊長類学などの幅広い分野の新しい研究成果をふまえながら、分かりやすく書いています。母親が赤ちゃんに語りかける時のマザリーズのこと、赤ちゃんの好む歌のことなど、本書では私たちが子どもと接する時になにげ

なく与えている音や音楽、言葉、そして遊びなどから、赤ちゃんの聴覚機能の発達を科学的に見つめています。

②書名：もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら

著者：岩崎夏海著 発行：ダイヤモンド社, 2009.12刊

所蔵：図書学生選書, 図書館西生田, 家経, 心理 請求記号：913.6-Iwa

松井貞子先生(食物学科)の推薦のことば：通称「もしドラ」で、漫画やアニメ、映画化もされ、すでにご存知の方も多いかも知れませんが、本書は高校の野球部を題材として、マネジメントについて具体的、かつ、わかりやすく解説しています。サークル等の運営や就職活動を始めるにあたり、社会や組織を理解する上でも役立ち、ヒントが得られる一書でしょう。現代社会は、様々な場面でイノベーションが求められていると感じますが、その土台にはマーケティングがあります。本学の皆さんには「Bloom as a leader」を目指し、マネジメントを学ぶことをおすすめしたいです。



③書名：石造りのように柔軟な：北イタリア山村地帯の建築技術と生活の戦略

著者：アンドレア・ボッコ, ジャンフランコ・カヴァリア著; 多木陽介編訳

発行：鹿島出版会, 2015.4刊

所蔵：図書館目白, 住居 請求記号：527-Boc

片山伸也先生(住居学科)の推薦のことば：本書は、北イタリアの山間にひっそりと息づく村落の建築と生活をつぶさに観察してきた著者らが、厳しい自然環境の中で生き抜くための逞しいまでの工夫と人間の柔軟さを、豊富な写真とともに紹介するものです。すでに

廃墟化したような過疎村をも取り挙げ、そこにかつてあった合理的な環境共生の手法が、何故変わらざるを得なかったのかを見つめる眼差しは、単なる文明批判を超えて、現代社会に求められる創造的なサステナビリティを見据えています。

④書名：風と共に去りぬ(全5巻)

著者：マーガレット・ミッチェル著; 大久保康雄, 竹内道之助訳

発行：新潮社, 1977刊(新潮文庫)

所蔵：図書館目白 請求記号：933-Mit-1~5

内村理奈先生(被服学科)の推薦のことば：19世紀アメリカ南部を舞台に、南北戦争という時代背景の中で、波乱の人生を送ることになった、美しくて勝気な女性スカーレット・オハラのお話。愛するアシュレをめぐる自分とは正反対の性格のメラニーとの確執や、強引ではあるけれどスカーレットを理解し深く愛したレット・バトラーとの関係など、壮大な時代背景のなかで繰り広げられる華麗な恋愛ドラマ。何よりも、どんな状況でも強く逞しく生きていくスカーレットが魅力的です。映画も素晴らしいです。



⑤書名：「かぐや姫」誕生の謎：渡来の王女と「道真の祟り」

著者：孫崎紀子著 発行：現代書館, 2016.3刊

所蔵：図書館目白 請求記号：913.31-Mag

秋元健治先生(家政経済学科)の推薦のことば：この本は、『日本書紀』の記述を手がかりに、中世ペルシアと日本の暦や祭礼のつながり、奈良の遺跡や地形を調べています。さらに神社の祭神から竹取物語最古の写本まで読み解き、飛鳥から代と時空を超えて「かぐや姫」誕生の謎に迫ります。『源氏物語』にも、日本最古の物語と記述されている「竹取物語」。中学や高校の国語の授業で、また絵本にも登場するなど有名な作品ですが、作者や成立年は不明でいまだ謎が多いです。



⑥書 名：図像学入門：疑問符で読む日本美術

著 者：山本陽子著 発 行：勉誠出版，2015 刊
所 蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：702.1-Yam
坂本清恵先生（日本文学科）の推薦のことば：美術館や博物館で、あるいは寺院を参拝した折などに、日本美術といわれるものを観て、何をどう鑑賞したらよいのか戸惑ったことはないでしょうか。たとえば、『源氏物語絵巻』に描かれる引目鉤鼻の登場人物たちは、いったい美男美女なのか？そうした、正面からは聞きにくいけれども、そこが知りたかった！という疑問に答えてくれるのが本書です。美術は、自分の感性で観るものではなく、実は事前学習こそが楽しむコツだったことが分かります。

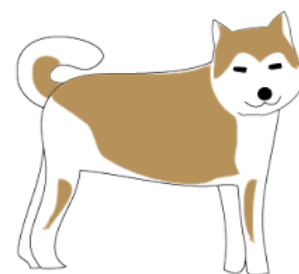


⑦書 名：女子とニューヨーク

著 者：山崎まどか著
発 行：メディア総合研究所，2012.8 刊
所 蔵：図書館目白 請求記号：778.253-Yam
馬場聡先生（英文学科）の推薦のことば：本書はニューヨークを舞台にしたガールズ・カルチャーを多角的に論じたエッセイ集です。摩天楼と5番街に象徴される、華やかなマンハッタンを舞台にした文学作品、映画などが網羅的に取り上げられています。世界経済の中心であるマンハッタンは、とすると男性中心のビジネスの町と考えられがちです。しかし、本書を読むとこの町に生きた女性たちが長い年月をかけて培ってきた女性文化の伝統が、現在まで脈々と受け継がれていることに気がつくはずで

⑧書 名：犬たちの明治維新：ポチの誕生

著 者：仁科邦男著 発 行：草思社，2014 刊
所 蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：645.6-Nis
平石淑子先生（史学科）の推薦のことば：猫は長らく外飼いが主でした。汚らしく猛々しい野良猫に睨まれて肝を冷やすこともあります。かれらはおしなべて「無価値」で、売り物にはなりません。しかし犬こそ長く「無価値」だったようです。犬は今の「街猫」同様、「村の犬」として人々の周りに生き、養われていました。唯一例外が座敷犬の狆で、日本を訪れた外国人たちに珍重され、日本人はそこで初めて犬に「価値がある」ことを知ったといいます。著者は様々の史料から犬に関する記述を丹念に拾い出し、繋ぎ合わせて一連の幕末・明治史を描き出してみせます。このような問題の立て方が、私は好きです。



⑨書 名：理科系の作文技術（[改訂版]）

著 者：木下是雄著
発 行：中央公論新社，2002 刊
所 蔵：図書館目白，院生活経済，物理 請求記号：407-Kin
村岡梓先生（数物科学科）の推薦のことば：木下是雄氏（1917-2014）は、研究者としてのみならず、ロゲルギストという物理学者による同人会に所属し、随筆・自然科学の随筆を多く出している日本を代表する物理学者です。この本は、学生の皆さんが講義や、社会人となり仕事で必要とされる、レポート、報告書、論文などの作成において、ストーリーの立て方、表現技術、プレゼンテーションのコツについて、まとめたものです。理系・文系にかかわらず「表現する」大事さに触れて欲しいと思い、この本を推薦します。是非読んで下さい。

⑩書 名：科学理論ハンドブック 50 <物理・化学編>

慣性の法則から相対性理論、量子論、超ひも理論、原子論、分子軌道論、遷移状態理論など

著 者：大宮信光著
発 行：ソフトバンククリエイティブ，2008 刊
所 蔵：図書館目白 請求記号：401-Omi
今城尚志先生（物質生物科学科）の推薦のことば：物理学と化学の理論は難しいと感じる方々が多いのではないのでしょうか。確かに難しいです。しかし、難しい理論が伝えたい自然の摂理は時に美しく、それを理解できたときは感動的ですからあります。本書は難しい数学的記述を極力避け、記述の厳密さを犠牲にしても理論が明らかにした「自然の摂理」を感じて頂くための解説となっています。この機会に物理学と化学が明らかにした自然の摂理に接してみてください。



(現代女性とキャリア連携専攻 2016 年度委員会作成)